

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

ここに当社第76期の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

昨年4月、当社は、お客様志向の経営を掲げ、デジタル家電市場に向けたキーデバイスの創出と、ものづくりの復活をかけた生産革新運動の展開により、当社を新たな成長軌道に乗せるべくスタートを切りました。しかし、期初は順調に進みましたものの、上半ばごろからデジタル家電市場に減速感が見られ、下期に入り、セットメーカー各社において生産調整や価格低減要求が強まるなど、当社にとって非常に厳しい状況へ変わってまいりました。特にプラズマディスプレイ市場向けの製品は、障害費用が発生したことなども加わり、当初の計画を大きく下回る結果となりました。

株主の皆様のご期待に反しましたことを深くお詫び申しあげます。

今後につきましては、当社が保有する技術と市場のニーズを客観的に分析し、それにもとづいて、改革の施策をスピーディーに整備するとともに素材技術を活用した特長のある部品の開発・供給を中心に据え、その部品の強みを活かしたモジュール製品への展開を図るという事業体制に移してまいります。

また販売力の強化策として、子会社のFDK販売株式会社を統合した営業体制により、当社を再建させ成長軌



代表取締役社長 杉本俊春

道に乗せる所存でございます。財務基盤の強化につきましては、本年4月に総額70億円の第三者割当増資を実施いたしました。さらに、昨年より進めております生産革新運動をさらに加速させるとともに、素材を基礎とした新製品・新技術の開発、消費地生産を基本においたマーケットインの体制づくりなどお客様にご満足いただける強いものづくりを目指してまいります。

これらの施策と取り組みにより業績の向上を図ってまいりますので、株主の皆様におかれましては、なにとぞ倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申しあげます。

平成17年6月